

那須塩原市水道事業の現状と課題

		企業会計					特別会計						
		黒磯水道事業	西那須野水道事業	塩原水道事業			西塩簡易水道事業	板室本村簡易水道事業	板室温泉簡易水道事業				
				塩原上水道	新湯簡易水道	関谷簡易水道				大貫金沢簡水	宇都野簡水		
全体	施設	①老朽化した施設が多く、効率的な運転が難しくなっている ②老朽化した水道管が多く、漏水件数が非常に多い ③水道施設は点在しており、維持管理が複雑である ④石綿セメント管の残存率が非常に高い ⑤管路の情報整備のやりかたが地域によって異なる ⑥危機管理対策が不十分である（耐震化、配水池容量、水源監視、水質監視、テロ対策） ⑦水源水質の汚染が懸念されている											
	経営	①水道事業は上水道3事業、簡易水道7事業と複数ある ②料金格差がある（最大で2倍以上）											
個別	施設	①一部の配水池容量が不足している ②取水に那須疏水を利用しているため、産業廃棄物等による水源水質の汚染が懸念されている ③給水エリアが広いため、配水管の延長に対する使用量が少ない ④昭和初期の施設（ろ過池）も使用している ⑤行き止まり管が多い	①一部の配水池容量が不足している ②取水に那須疏水を利用しているため、産業廃棄物等による水源水質の汚染が懸念されている ③浄水場の運転を停止した場合でも、県水の受水だけで供給が続けられる	①給水エリアは広いが、大口使用者が多いため配水管の使用効率は比較的高い ①冬期の施設管理が難しい			①水源が山中にあるため、水源と導水管の維持管理が容易ではない	①水源水位が不安定である ①水源から高所にある配水池までポンプを使って圧送している	①浄水処理工程が不安定である ②一部の配水池容量が不足している	①水源に余裕がある	①水源が山中にあるため、水源と導水管の維持管理が容易ではない ②大口使用者が多いため配水管の使用効率は比較的高い		
	経営	①内部留保資金が少ない ②積立金はあるが、建設改良や起債の償還資金に充てているため年度末残高は少ない	①内部留保資金残高に余裕はあるが、年々減少してきている ②積立金はあるが、建設改良や起債の償還資金に充てているため年々減少してきている ③効率性はいいが給水原価が高い ④給水原価に占める県の受水費の割合が高い ⑤給水にかかる費用は料金で回収できている	①現在のところ内部留保資金に余裕はあるものの、積立金はない ②簡易水道分における投資は企業債の依存度が高い ③累積欠損金が発生している ④複数の事業を1つの会計で経理している			①観光地への大量給水といった効率性などにより給水原価が安い ②給水にかかる費用は、料金で回収できている	①観光地への大量給水といった効率性などにより給水原価が安い ②給水にかかる費用は、料金で回収できている	①給水原価に占める県の受水費の割合が高い ②給水にかかる費用は料金だけでは回収できていない ③区画整理事業に伴い布設した配水管の減価償却費が高い	①老朽管の更新により、企業債残高が多くなっている ②給水原価に占める減価償却費と支払利息の割合が高い ③給水にかかる費用は料金だけでは回収できていない	①事業規模が小さく、1件あたりの使用水量も少ないため、給水原価が高い ②給水原価に占める支払利息の割合が高い ③給水にかかる費用は料金だけでは回収できていない	①施設の更新と配水管布設替えにより、企業債残高が多い ②給水にかかる費用は料金だけでは回収できていない ③料金が県内でも一番安い ④一部の大口使用者で配水量のおよそ2/3を使用している ⑤基金がある	①給水にかかる費用は料金だけでは回収できていない ②基金はない